

科目名 Course Name	発達と老化の理解Ⅱ Development and Aging II				ナンバリング No.	J2-014	
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	秋山 巖						
連絡方法	C-ラーニングで対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは月・火・木・金曜日の授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程 必修)						
関連 DP	DP2,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>【授業全体の内容の概要】 高齢者の加齢に伴う心身の状況の変化と日常生活に及ぼす影響についての基礎的な知識の習得を図る。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①高齢者の疾病と多い病気について知識を習得できるようにする。 ②保健医療との連携について知識を習得できるようにする。 ③高齢者の生活課題について知識を習得できるようにする。</p>						
授業の方法	講義が中心となるが、ディスカッションや発表などを取り入れ他者の意見を聞いたり、自身で考える授業とする。						
学習成果	L01						
	L02	加齢に伴う心身状況の変化などについて基本的事柄について説明できる。					
	L03	高齢者の疾病と多い疾患についてまとめることができ、積極的に課題に取り組むことができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	レポートはコメント記入・評価後学生に返却、小テストは時間内で答え合わせ、解説を実施する。平常試験は試験後に模範解答を示す。						
教科書/参考図書	教科書:最新・介護福祉士養成講座 第12巻「発達と老化の理解」中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	<p>●目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。グループワークなどは積極的に望んでほしい。遅刻厳禁。飲み物等持ち込み禁止。やむを得ず欠席する場合は必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。</p> <p>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。</p>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	教材を常に準備して臨んでいる。ディスカッションの場面では、積極的に意見を述べている。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問している。		10		
レポート/作品	5回目にレポート課題「脳血管疾患の予兆と予兆発見時の対応」を課す。S:脳血管疾患の種類や原因、予兆と介護職としての対応が具体的に述べられている。			20	
発表					
小テスト	9回目に小テストを実施。健康長寿、高齢者に多い疾患(脳・神経疾患、骨格系・筋系疾患、皮膚・感覚疾患、呼吸器疾患)について理解できている。		20		
試験	高齢者と健康、健康長寿、高齢者の症状の特徴、高齢者に多い疾患と生活上の留意点、保健医療職との連携について理解できている。			50	

その他					
		合 計		30	70
回数	授業計画				
1	授業内容	ガイドランス 学習内容を確認し、学ぶ意義を理解する。「健康」の定義			
	事前・事後学習	健康の定義を考え書き表す。			
2	授業内容	高齢者と健康① 健康長寿に向けての健康			
	事前・事後学習	健康日本 21 について調べる。			
3	授業内容	高齢者と健康② 健康長寿、サクセスフルエイジング、アクティブエイジングなど			
	事前・事後学習	自分の老後のありたい姿を予想し書き表す。			
4	授業内容	高齢者の症状・疾患の特徴、老年症候群 【グループワーク】「老年症候群予防のための年代別留意点」			
	事前・事後学習	グループワークのまとめ。			
5	授業内容	老化に伴うところとからだの変化と生活、留意点① 脳・神経系(パーキンソン病、脳血管疾患など) (レポート①「脳血管疾患の予兆と予兆発見時の対応」 提出:第7回目)			
	事前・事後学習	レポート作成のための資料集め。			
6	授業内容	老化に伴うところとからだの変化と生活、留意点② 骨格系・筋系(骨粗鬆症、変形性関節症など)			
	事前・事後学習	レポート作成。			
7	授業内容	老化に伴うところとからだの変化と生活、留意点③ 皮膚・感覚器系(白内障、難聴、皮膚疾患など)、悪性新生物			
	事前・事後学習	白内障、緑内障の違いを調べる。			
8	授業内容	老化に伴うところとからだの変化と生活、留意点④ 循環器系(高血圧症、虚血性心疾患、不整脈など)			
	事前・事後学習	小テストの範囲(第1回～第7回)の勉強。			
9	授業内容	(小テストと解説)老化に伴うところとからだの変化と生活、留意点⑤ 呼吸器系(肺炎、結核、ぜんそくなど)、消化器系(消化性潰瘍、逆流性食道炎、肝硬変など)			
	事前・事後学習	テキスト P236～P246 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
10	授業内容	老化に伴うところとからだの変化と生活、留意点⑥ 腎・泌尿器系(慢性腎不全、尿路感染症、前立腺疾患など)			
	事前・事後学習	テキスト P288～P289 の2行目まで問題を解く。			
11	授業内容	老化に伴うところとからだの変化と生活、留意点⑦ 内分泌系・代謝系(糖尿病、脂質異常症、痛風など)			
	事前・事後学習	テキスト P251～P259 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
12	授業内容	老化に伴うところとからだの変化と生活、留意点⑧ 歯・口腔疾患(虫歯、歯周病、ドライマウスなど)			
	事前・事後学習	資料「唾液の神秘とそのパワー」を読んで、重要箇所にアンダーラインをひく。			
13	授業内容	老化に伴うところとからだの変化と生活、留意点⑨ 精神疾患(うつ病、統合失調症など)			
	事前・事後学習	テキスト P277～P281 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
14	授業内容	老化に伴うところとからだの変化と生活、留意点⑩ 感染症(ウイルス性呼吸器感染症、感染性胃腸炎など) その他(熱中症、脱水)			
	事前・事後学習	テキスト P271～P277、P281～P287 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
15	授業内容	保健医療職との連携			
	事前・事後学習	テキスト P289 の3行目から最後まで問題を解く。			